Logger32 の使い方

JA1NLX 吉田 朗

ayoshida@my.email.ne.jp

Logger32については今までも何度か紹介させてい ただきました。今回は、特に初めて Logger32 を使う 方のために必要な手順、更新の手順、更にその豊富 な機能についてなるべく詳細にご紹介することにしま す。

Logger32 ver3.32.2 が現時点での最新版です。

<u>初めて使う方のために</u>

Logger32 は、K4CY Bon Furzer が開発している 無料のロギングプログラムです。基本的には日常の ロギングをすることを前提に考えられていて、殆どで きないことは無いと言える程に豊富な機能を備えて います。

コンテストで使えないことはありませんが、極めて 限定的な機能しかないので、この場合はコンテスト用 に開発されたロギングプログラムを使うべきと考えま す。

Logger32はそれ自体印刷機能を持っていません。 Logbook、QSL、QSL ラベル等の印刷には LogPrint のような外部プログラムが必要です。

Logger32 は無料です。一部の有料プログラムにあ る制約つきの「お試し版」というようなものはありませ ん。誰でもフル機能を備えた「完全版」を試してみるこ とができます。

Logger32 のメニュー、ワーニングメッセージを日本 語で表示することもできますが、データを日本語で記 録したり、表示したりすることはできません。どうして も日本語を使いたい方には不向きです。

Logger32 は世界中に多くのユーザーがいます。 eQSL、ClubLog にアップロードされたログから使わ れているロギングプログラムを判別し、それを集計し たものが下記に掲載されています。

http://www.eqsl.cc/qslcard/ADIFLoggerInfo.cfm http://www.clublog.org/software.php

Logger32には英語のヘルプファイルが同梱されて いますが、筆者達が、ほぼ同じ内容のヘルプファイ ルをそれぞれの言語で用意しています。日本語ヘル プファイルについては下記で参照することができま す。

http://www.asahi-net.or.jp/~yy7a-ysd/Links.htm

Logger32 に関する情報は下記からご覧いただけ ます。

http://www.asahi-net.or.jp/~yy7a-ysd/

Logger32 に関する Mailing List、掲示板があり、 不具合、操作方法等の問い合わせをすることもでき ます。 また、筆者宛に直接メールをいただいても 結構です。

世界中のユーザーが参加しているのが Yahoo GroupsのHamloggerというMailing Listです。一方、 掲示板は JA 専用です。

http://www4.rocketbbs.com/741/ja1nlx.html

<u>初めて Logger32 をインストール</u>

Logger32 が正式に動作保証している OS は、 Windows NT、Windows ME、Windows 2000、 Windows XPです。Windows Vista、Windows 7 は 同じように使えますが注意が必要です。

(1) Logger32 をダウンロード

初めて Logger32 をインストールする場合は、下記 から Full version of Logger32 をダウンロードしま す。

http://www.logger32.net/program.html

(2) Logger32 をインストール

ダウンロードした zip ファイルを解凍します。解凍し て得られるファイルの 1 ツ、setup.exe をクリックすれ ばインストールがスタートします。

インストール先のフォルダは、c:¥Logger32 が初期 値です。<u>OS が Windows Vista、或いは Windows 7</u> <u>の場合は必ずこのフォルダにインストールしてくださ</u> い。

お使いの PC の環境によってはインストール途中で エラーになることがあります。次に代表的なエラー例 をご紹介します。運よくエラー無しでインストールが 終了した場合は次のステップに進みます。

よくあるエラー例

 Path or file not found Windows XP でよく見られるエラーです。下記を 参考にしてください。

http://www.jmbsc.or.jp/hp/offline/teisei01.pdf# search='path%20not%20found'

- ② 何等かのファイルが使用中 常駐アプリケーションがいたずらする例です。
 PCを Safe mode で起動してから Logger32を インストールしてみます。
- ③ ファイルが古い Windows OS を最新版に更新します。 (Windows update)
- ④ その他
 何等かの理由でダウンロードした zip ファイルが 壊れている、或いは解凍で壊れていることがあ ります。再度ダウンロード、解凍後にインストー ルしてみます。
- (3) 最低限必要な最初の設定 以下の手順で最初の設定をします。併せて次のペ ージを参照してください。

http://www.asahi-net.or.jp/~yy7a-ysd/JapaneseHe lpMenu.htm

http://www.asahi-net.or.jp/~yy7a-ysd/FirstStep.ht ml

写真_1a 最初の起動画面



- ① Logger32を起動する。
- ② 自分の Callsign を入力する。
- Logger32 を最初に起動した時には、 Logger32 の Main Window と 8 ツの Window)がデフォルトの位置、サイズで表示

されています。先ず、Main Window を最大化 します。次に、最低限 <u>Logbook Entry Window、</u> <u>Logbook Page Window、Previous QSOs</u> <u>Window、Worked/Confirmed Window</u>を適 当なサイズにして任意の位置に配置します。 他の Window は閉じておきます。ここで一度 Logger32 を終了させます。

- ④ 再度 Logger32 を起動します。各 Window が 前回終了時の状態で表示されることを確認し ます。もう一度 Logger32 を終了します。
- ⑤ Logger32 のフォルダに Logger32.ini というフ ァイルがあることを確認して、これを削除しま す。
- ⑥ Logger32 を起動します。再度②、③の手順を 繰り返します。

ちょっと面倒なステップを踏みましたが、Logger32 は Logger32.ini というファイルに色々な設定が保存 されるということを覚えておいてください。

⑦ 所在地の緯度、経度を入力します。Logbook Page Window の上でマウスを右クリックしま す。右クリックする位置は各入力欄とその近傍 です。プルダウンメニューが表示されるので Setup、My QTH Lat/Long をクリックします。 Latitudeに緯度を、Longitudeに経度を入力し ます。東経と南緯は"-"をつけて西経と北緯と 区別するルールなので JA の場合の緯度の頭 には"-"をつけます。

この画面では距離表示の単位を選択すること ができます。Distance Units は Kilometers を 選択したほうが直感的でしょう。最後に Apply ボタンをクリックします。

⑧ PC Clock の確認をします。コントロールパネ ルの日付と時刻で正しい<u>JSTに設定</u>してください。

Logger32の Main Window 最下段にあるステ ータスバーの左端には日付、時刻が GMT で 表示されています。またマウスをその上におく と JST で日付、時刻が表示されます。 Logger32に表示、保存される<u>日付、時刻は常</u> に GMT となります。

 周波数表示の設定をします。Main メニューか らSetup、Frequencyをクリックします。好みの 表示方法を指定します。Logbook への周波数

 データの保存もこの形式で行われます。

 ・同様に日付、時刻表示の設定をします。Main メニューから Setup、Date format、或いは Time format をクリックし、好みの表示方法を 指定します。





11 Apr 11 D4:15:56 Data Tenninal Dutter Radio 1 Rotor Tehnet Antenna ### DV/C

基本的な画面の名前を覚えてください。上段は Logbook Page Window です。Logbook に記録され た QSO データの表示、修正を行います。

下段左からLogbook Entry Window、QSOデータ をリアルタイムで入力します。真ん中は Previous QSOs Window、Logbook Entry Window の callsign欄に入力した callsign との過去のQSOデー タを表示します。右端は Worked/Confirmed Window、Logbook Entry Windowの callsign欄に 入力した callsign からDXCC Prefix を判別し、その DXCC Prefix とのバンド/モード別のQSO 実績を表 示します。

(4) ログデータのインストール

この段階ではインストールされた Logger32 の Logbook は空です。この空の Logbook に今までの QSO データを登録するには次のいずれかの作業が 必要です。

- 今までの紙ログから1件、1件手動 入力する。Add QSO Manually
- ② 今まで使っていたロギングプログラムからQSOデータをADIF形式で出力する。或いはそのロギングプログラムが可能な形式で出力し、それをADIFに変換してからLogger32にインポートする。Logger32がインポートできるのはADIF形式のデータだけです。CSV形式のデータをADIF

形式に変換するのは比較的簡単で す。筆者までご相談ください。

(5) Add QSO Manually

手動でQSOデータを入力する方法を覚えてくだ さい。これから入力するのはあくまでテストです。 テスト終了後には全て削除します。

DD QSOs manually			2
Date	Time	Callsign	Pfx
1 4 11 💌	04:27:00 🕂		
Band Mode	e Freq as 14200.1	00 RST Sent	RST Rev
20M 🔽 CW	▼ 14000.00	599 💌	599 💌
Name		QTH	~ ~~
	I Comment		
Operator	ADDRESS	Select A	DIF field
IA1NLX		ADDRE	SS <u>-</u>
Primary admin	Secondary	admin l	End Time
	_	04	:27:00 🕂
Paper QSL Sent	🗖 eQSL Sen	t EL	oTW Sent
Paper QSL Rovd	🔲 eQSL Rov	d 🗖 L	oTW Rev
		🔲 Flag to sen	dQSL
- Ele		Flag to sen	d to eQSL
ADD QSO Clea	r	Flag to sen	d to LOTW

写真_3 Add QSO Manually Window

- Logbook Page Window の任意の位置で マウスを右クリックします。
- 最低限必要な入力は、Date、Time、 Callsign、Bnad、Mode です。Pfx は Callsign入力により自動補填されます。 FreqはBand指定によりそのバンドの初期 値が入ります。RST sent、RST rcvd は初 期値が入ります。RST sent、RST rcvd は初 期値が入ります。Flag to send QSL/eQSL/LoTW はこの QSO に対する QSL のフラグ付けです。Operator は初期 値がはいります。
- ③ 最後に Add QSO をクリックします。
- ④ いくつか QSO を入力してみます。
- ⑤ Add QSO Manually Window を閉じて Logbook Page Window を見てみます。今 入力した QSO が表示されています。
- (6) PreviousQSOs Window と Worked/Confirmed Window の表示 この段階で2ツの Window に何が表示されるか ざっと確認しておきます。

- Logbook Entry Window の callsign 欄に 先ほど入力した callsign の 1 ツを入力しま す。
- Previous QSO Window には先ほど入力 した QSO データが表示されます。
- Worked/Confirmed Window にはその DXCC Pfx とのバンド、モード別の QSO 実績が表示されます。

写真_4a 入力後の各画面



- (7) LogbookのExportとImport ここでこの2ツの操作を覚えてしまいましょう。どちらも今後頻繁に使うことになります。
 - 1 Export

ちょうどいくつかの QSO データが Logbook に保存されています。この LogbookをExportしてみましょう。 Main メニューから File、Export Logsをク リック、ADIF fileを選択します。 次の画面では、とりあえず All operators、 Include logbook informational entries に チェックし Startをクリックします。 次の画面で Export 先のファイル名を指定 します。仮に Logbook.adi とします。 Export Completed の画面がでれば終了 です。

Logbookの削除
 Logger32は任意に複数のLogbookを持つことができます。初期設定では以下の4
 ツのファイルに QSO データが保存されます。
 Logbook32.isd

Logbook32.isf Logbook32.isl Logbook32.ism Logbook には任意の名前をつけることが できますが、常にこの4ツがペアです。 Logger32を終了し、Logger32のフォルダ にあるこの4ツのファイルを削除します。 もう一度 Logger32 を起動します。 Logbbook Page Window が空になってい ることを確認してください。

③ Import

Main メニューから File、Import Logs、 ADIF file をクリックします。

Import するファイルを指定します。ここで は既に Logger32.adi に Logbook を export してあるので Logger32.adi を指定 します。

次の画面でオプションの指定があります が、とりあえず何処にもチェックをつけず Start をクリックします。

Logbook Page Window に先ほど入力した QSO データが表示されています。

<u>Logger32 を実践的に使う (入門編)</u>

Logger32 を初めて使う場合の進め方は大別する と2通りあります。1 ツは先ず過去の QSO データを Logger32 に移すことに専念する方法、もう 1 ツは実 践的に毎日の QSO データを記録しながら、過去の QSO データを時間をかけて移してゆく方法です。私 がお勧めするのは後者です。

従って以下後者の場合を想定し、より使いやすく、 見やすくするための設定をします。<u>各項目の詳細は、</u> <u>是非ヘルプファイルをお読みください。</u>

 Logbook の指定と Operator の指定 後述するように Logger32 は複数の Logbook を 持ったり、複数の Operator で 1 ツの Logbook を共有することもできます。これは後でどのよう にも変更できるので、特に支障が無ければデフ オルトの Logbook 名(Logbook32)と一番最初に 登録した callsign を Operator としてください。 現在の Logbook 名は Logbook Page Window、 Operator 名は Logbook Entry Window のタイト ルに表示されています。

- Band/Mode Table の設定 設定の手順は次の通りです。
 - 自分が利用するバンド、モードを残して不 要なものを削除
 - ② Worked/Confirmed Window 、Award Table に表示するバンドの Stats を Y とす ること
 - ③ GENE バンドは何かと便利に使える

写真_25a Band/Mode Table

Band	Node	Lower Fred	Upper Freq	Report	Radio Mode	Fower	Stats	Aerial	Rado #	Rotor #	Rotors	69
SON	CW.	3.690000	3.687000	539	OW	1	Y		1	D	0	122
SOM	SSB	3.599000	3.612000	59	LSB		Y		1	0	0	
SOM	CW'	3.599000	3.612000	539	OW.		Y		1	0	0	
SOM	SSB	3.530000	3.575000	59	LSB		Y		1	0	0	
SOM	RTTY	3.520000	3.530000	539	BITY		Y		1	0	0	
SOM	PS#31	3.520000	3.530000	539	LSB		Y		1	0	0	
30M	CW,	3.500000	3.575000	539	CW		A		- 1	D	0	
160M	ŪW'	1.907500	1.912500	539	OW		N		1	D	0	
160M	CW,	1.810000	1.825000	539	CW		N		- 1	D	0	1
GENE	SSB	1.000000	30.000000		USB		N		1	D	0	
				1 1								-
Ap	ele 1	Cancel			Delete Roy	v In	et Box	1				

- Logbook Entry Window の設定 設定の手順は次の通りです。
 - 表示する項目欄(user field)の選択と目的の設定
 - ② TAB キーによる項目欄移動の順序
 - QSO Mask 利用の有無(以前の QSO デ ータから内容を自動補填)
- (4) Logbook Page Window の設定 設定の手順は次の通りです。
 - ① 表示不要な項目はチェックを外す
 - ② 項目を自由に並び替える
 - ③ 各項目のタイトルを変更する

写真_26a Logbook Page Window 設定

Show Logbook Page coli	umn layout				×
ADDRESS	ADDRESS	-	CAR USER 1	USER 1	~
A DI OSO DATE	DATE	*	GRIDSQUARE	GRIDSQUAR	~
- TIME ON	UTC	*	SUTI ITUZ	ITUZ	~
-ST DISTANCE	DISTANCE	**	USER 2	USER 2	~
ARRI SECT	ARRL SECT		- USER 3	USER 3	
-VAL BAND	BAND		- VI IN NAME	NAME	~
FRED FRED	FREQ		- O D PEX	PEX	~
- CALL	CALL		PROP MODE	PROP MODE	*
-W MODE	MODE	~	- TO TH	QTH	~
TX PWB	PWB		- WE BST BOVD	RST. R	
ATOI NOTA	IDTA.		- TA M RST SENT	RST_5	•
- CALIF OPERATOR	OPERATOR		COMMENT	COMMENT	10
NOR DIACC	DWCC		RX PWB	RX PWR	*
- VIA OSL VIA	VIA	~	-SAT MODE	SAT_MODE	~
- Q I QSL BOVD	QSL_R	10	- SAT NAME	SAT_NAME	~
- TA IN OSL SENT	QSL S	. ^	SRX SRX	SRX	^
- A P LOTW QSL RCVD	LO_R	~	- STX	STX	^
LOTW QSL SENT	LO_S		FOLD SFI	SFI	*
-ST QSLSDATE	QSLSDATE		- A INDEX	A_INDEX	~
SUP OSLADATE	QSLRDATE	10	- X M K INDEX	K_INDEX	17
NOTES	NDTES		TEN TEN	TEN_TEN	^
- DE OSLMSG	QSL MSG		TIME_OFF	TIME_OFF	^
CONTEST_ID	CONTEST ID	1	OSD_NUMBER	Nr	. *
STATE	STATE	•	- CA COSL_QSL_SENT	eQSL_QSL_SE	~
PAR CNTY	CNTY	1	A BUSL OSL BOVD	eQSL_QSL_RC	2
CONT	CONT	~	FREQ BX	FREQ_RX	^
Q COZ	cqz	1	BAND_RK	BAND_RX	^
F Show Logbook Page Win	dow column		Show DXCC Column as A	RRL Piels	¥
inclusive as independent			Show Primary administrat	ive as Code	•
Apply Cancel			Show Secondary administ	trative as Code	-

- (5) Previous QSOs Window の設定
 設定の手順は Logbook Page Window に準じます。
- (6) Worked/Confirmed Window の設定
 Worked、Confirmed の表示は簡易な表示と複 雑な表示を選べますが、最初は簡易型のほうが 直感的で分かりやすいと思います。
 モードは SSB、RTTY、PSK31 のように表示す る方法と、DIGital、PHOne にくくって表示する 方法を選べます。
 バンドは、Band/Mode Table で Stats 欄を Y と したバンドが表示されます。

(7) Radio の設定

Logger32 を実践的に使うには Transceiver の CAT 機能を利用すべきです。Logger32 は Transceiver の周波数、モードを読み、それを Logbook に記録することができます。 Logger32 は殆どの Transceiver をサポートして います。ICOM、KENWOOD の場合は、例外は ありますが機種を選びません。YAESU の場合 は原則機種の選択が必要です。 Logger32 のリストにない機種でも他の機種を 選択すれば基本的な動作をするものがあります。 筆者の TenTec Eagle はサポートリストにはあり ませんが Orion を選択すれば動作 OK です。

TS-590 は TS-480 を選択します。

(8) BandMode Selection の設定
 Logbook Entry Window の Mode 表示近辺でマウスを右クリックします。CW Machine、Sound

Card Data Window は次のステップにするので、 ここでは、Band from BandPlan と Mode from Radio にチェックをつけます。

この意味は、バンドは(2)の Band/Mode Table から、モードは Transceiver から読むということです。

最後に Apply をクリックします。

(9) QSO 開始時刻(Time ON)と終了時刻(Time OFF)

開始時刻は、callsign 欄からフォーカスが移動 したタイミングか、QSO を Logbook に保存する タイミングかを選択します。(Logbook Entry Window 上でマウスを右クリック、Setup、QSO start time をクリック) 或いは、CTRL+Sを押し たタイミングです。

終了時刻は、CTRL+E を押したタイミングです。 押さなければ開始時刻と同じになります。

(10) QSL 発行のフラグ

Logger32 は(Paper) QSL、eQSL、LoTW を管 理することができます。それぞれに QSL 発行の 有無、受領の有無、発行日付、受領日付、各種 Award のクレジットに使う、使わないを管理をし ます。

QSL 発行の有無のフラグは、QSO を保存する 毎に機械的に有とするか、後で個別に有とする かのどちらかです。ここでは前者の方法をやっ ておきます。

Logbook Entry Window の任意の位置でマウ スを右クリックします。Setup、QSLing をクリック し、機械的にフラグをつける QSL にチェックをつ けます。(Paper) QSL、LoTW が一般的だと思 いますので、ここでは Flag QSOs for QSL、 Flag QSOs for LoTW にチェックをつけておくこ とにします。

以上の設定を済ませてあれば次のようなシナリオ で毎日のQSOをLogbookに記録してゆくことができ ます。Logger32 をより便利に使うためのヒントにつ いては後述します。

先ずは実際に使ってみてください。

- Transceiver と PC の CAT 用接続をする。
- Transceiverの電源をON する。
- Logger32を起動する。
- Logbook Entry Window の Freq には Transceiver の周波数、Mode には Transceiver のモード、Band には Band/Mode Table で設定したバンドが表示される。
- Logbook Entry Windowの callsign 欄に相手の callsign を入力する。必要に応じてその他の欄に入力し、Enter キーを押すか、CTRL+Lを押す。
- 以上でこの QSO が Logbook に保存される。
- Logbook Page Window に今の QSO が保存 されていることを確認する。
- 同様にして日常の QSO をリアルタイムで保存してゆく。
- Logger32 を終了する。
- Transceiverの電源をOFFにする。

<u>Logger32 を実践的に使う (応用編)</u>

Logger32を更に便利に使うためのヒントです。

- Recalc 操作 Tools、Database maintenance、Recalculate statistics をクリックします。 この処理は Award の実績を集計するために必 要なデータを整理し、結果は Stats32.isd、isf、 isl、ism ファイルに保存されます。 Logger32 の更新時、Logbook のインポート、 Award 集計結果に問題がある場合には Recalc を実行させてみてください。
- (2) Reformat QSO numbers 操作
 Tools、Database maintenance、Reformat QSO numbers をクリックします。
 Logbook に保存される QSO データは、通常は QSO の日時順に QSO ナンバが振られていま す。
 しかし QSO データを削除したり、古い日時の

QSO データを手動で追加したりするとこの順番 が狂ってしまうことがあります。このような場合 に Reformat QSO numbers を実行させてきてく ださい。

- (3) メニュー、ワーニングを日本語で表示する Logger32のメニュー、ワーニングを日本語表示 にすることができます。日本語表示にするため の手順は次の通りです。
 - ① 下記のいずれかから Logger32 のバージョンに対応した ja.dll をダウンロードする。

http://www.asahi-net.or.jp/~yy7a-ysd/Lin ks.htm http://www.logger32.net/support.html

- ja.dll を <u>1041.dll</u>にファイル名変更し、 Logger32のフォルダにコピーする。
- (4) Logbook Entry Window のちょっと便利な機能
 - クイック QSY Callsign 欄に 14040 等のように入力して Enter キーを押します。周波数は設定した 書式(MHz か KHz か)で入力します。
 - ② 周波数の微調 周波数表示の上でマウスホイールを前後 にクリックします。設定した単位で Transceiverの周波数を微調します。
 - 偽の DX Spot を送出 Callsign 欄に、!JA1NLX のように入力して Enter キーを押します。DX Spot Window、 BandMap 上にのみ表示されます。
 - ④ 偽の QSO を保存 Callsign 欄に、JA1NLX=のように入力し て Enter キーを押します。捉まえそこなっ た珍局を Logbook に記録しておくことがで きます。
 - ⑤ その他

写真_23

QSLing						
Show user fields Setup user fields						
QSO Start time	•					
✓ QTH field in proper case						
 Name field in proper case 						
 Gridsquares in proper case 						
Autolog Distance, SFI, K & A Ind	dex					
 Show callsign preview 						
Clear Callsign on QSY						
My QTH Lat/Long						
Setup tab order						
Setup QSO Mask						

Callsign を入力してゆく過程で Logbook にある 似通った callsign を表示する機能が Callsign preview です。

写真_24

Operator : JA1NLX							
Freq Call	18092.0 K4C	Mode CW	Band 17M W NA 05 🗸				
Sent Rovd Name	K4CEF K4CFA K4CFB K4CIA		Atlanta GA 53 Sunset 00:17 RX-F				
Cmnt VIA	K4CNW						

- (5) Logbook Page Window で出来ること
 - QSO データの並び替え デフォルトでは Date 順に表示されていま す。





Logbook Page Window の項目欄を見る と Date が赤表示になっています。 次に項目の DXCC をクリックします。 DXCC が赤表示となり DXCC の ADIF ナ

ンバ順に表示されます。



このように Logbook Page Window の項 目をクリックすればその項目順に QSO デ ータが並び替えられて表示されます。

> <u>大幅にスクロールする時は</u>、垂直スクロー ルバーの四角いポインタをマスドラッグし ます。

> <u>ページ単位にスクロールする時は</u>、垂直 スクロールバーの任意の位置でマウスク リックします。或いは PgUp キー、PgDn キ ーを押します。

> <u>1 行単位でスクロールする時は</u>、垂直スク ロールバーの上下矢印をクリックするか、 スクロールホイールを上下にクリックしま す。

> Logbook の先頭にスクロールする時は、 四角いポインタを一番上にマウスドラッグ します。或いは Home キーを押します。

> Logbook の末尾にスクロールする時は、 四角いポインタを一番下にマウスドラッグ するか、最下行のブランク行をマウスクリ ックします。或いは END キーを押します。

QSO データの検索
 Logbook Page Window の任意の位置で
 マウスを右クリック、Search for QSO をク

リックします。

どの項目で検索するかを指定します。例 えば Call を指定します。尚、このリストに 表示されるのは項目の ADIF 名です。因 みに Call は ADIF 名では Call です。

この時 Logbook Page Window は Call 順 に並び替えがおこなわれます。

検索の最初の文字を指定します。例えば PJ2 と入力します。

Logbook Page Window は Call 欄が PJ2 のものを先頭に表示されます。

写真_8a Call で検索



 ④ QSO データの修正 修正したい QSO データの項目セルをクリ ックします。例えば VE6RI の TX_PWR セ ルをクリックします。

写真_9a 50wを100wに修正



50w を 100w に書き直し Enter キーを押 します。或いは上下左右の矢印キーで項 目を移動しても修正が確定します。

次はもう少し汎用的な修正をする場合で す。修正したい QSO の上でマウスを右ク リックします。例えば 3D2HC の DXCC が 3D2 となっていますが、これを 3D2/R と修 正するとします。

写真_10a DXCC を修正

5815	KOTA			Set 050 e	nd time	1. I.I.		- 11	1	-	<u>.</u>	
104	MIR COL	× w		Add QSO Delete QS Search for	0 (250			10000	1100	<u>×</u>	1	
12M 15M 17M	PHQ	0V 0V 0V 0V	Send eOSL Send LOTW OSL Send paper OSL			00130		-				
40M 40M 80M	DIS	<u></u>	• •	eQSL Sent LoTW QSL Paper QSL	Sent Sent					Ŧ		
Lochock	page (C-¥P)	ROGRAM FIL	ESY	øQSL Reck LoTW QSL	eived Received							<u> </u>
DATE	UTC	CALL	DI	Paper OSL	Receive	12	SOOM .	DX PWB	QSL R	05.5	LOR	1.
31 Dec 10	07.43:23	OE85KQ		Tax fabres		46277	OW.	60W	N	X	N	-
31 Dec 10	22:04:23	PVBADE	F	Sec show	award cre	049.	OW	SDDwr	N	Y	N	
31 Dec 10	221817	NK3Y		Cold Madam			OW.	100w	N	Y	N	
31 Dec 10	22 32 29	HP3A	1.95	East Notes			OW	100w	N	Y	N	
31 Dec 10	22.37:13	N3MK		Edit Woll in	nto .		RITY	100w	N	Y	N	
02 Jun 11	05.5515	2.18/2		Edit Count	try info		OW	50w	N	Y	N	
02 Jan 11	08 53:04	30298	3	Edit Admin	Schelin	on nin	OW.	50w	N	Y	N	
02 Jan 11	08.07:13	LUXWW	1		0200000		OW	100w	N	Y	N	
02 Jan 11	22,56:01	MAG.		Setup			OW	100w	N	Y	N	
03 Jan 11	07.15.40	30/240	304		-		OW	100w	N	- Y	N	
04 Jan 11	00.59:03	H7RR	W	87	2014	14033.0	OW	100w	N	Y	N	
04 Jan 11	01:06:01	87NA	W	RT	2014	14033.0	OW	100w	N	Y.	N	

写真 11a 3D2¥Rを選択



プルダウンメニューから Edit country info をクリックし、3D2¥R を選択して Apply を クリックします。

このプルダウンメニューから、QSO の削 除、QSL のフラグ付け、Award クレジット への使用の有無の指示等を行うことがで きます。

(6) QSL、eQSL、LoTW のフラグ

QSL カードを発行するとか、eQSL、LoTW に Logをuploadするかの印を1ツ1ツのQSOに 付けることができます。その方法は2通りありま す。

- 前に QSO したとか、していないとかに関 係なく QSO を記録、保存する度にこの印 を自動的に付ける。
- 保存された QSO に対し個別にこの印を付ける。

勿論、前者の場合でも後でこの印を外すことも できます。

Logger32 は export File で、この印のついた QSO を出力することが出来るので、これを使っ て QSL 印刷用のプログラムで読ませ、印刷し たり、eQSL、LoTW のサーバに upload したり できます。

一方、QSLを受け取ったり、eQSL、LoTW から

QSL データを download する場合はどうでしょ うか。

QSL の場合は、1ツ、1ツ QSL を貰った印をつけますが、eQSL、LoTW の場合は、まとめて自動的に印を付けることができます。(eQSL Synchronization、LoTW Synchronization)

(7) QSL を印刷する

Logger32 には印刷機能がありません。前項で 説明したように QSL 印刷用の QSO データを出 カし、これを LogPrint のような印刷用プログラ ムで読ませて印刷します。 LogPrint は Logger32 と組み合わせて使うこと を前提に作られているので、大変使いやすいと 思います。 (LogPrint については後述)

(8) LoTW を使う

QSL 印刷と同じ要領で、必要な QSO データを 出力して upload、或いは QSL データを download して Logger32 の Logbook の内容を 更新します。 LoTW_eQSL_Utility のような外部プログラムを 使えば更に便利だと思います。 (LoTW eQSL Utility については後述)

(9) DX Spot を利用する(受信、送信) インターネットが使える環境であれば、先ずは Telnet で何処かのノードに接続して見ます。 Cluster Window を開き、Telnet タブをクリックし ます。Connect List から何処かのノードを選択し てログインします。

写真_12



DX Spot Windowを開きます。DX Window で は DX Spot の色表示、各種フィルタリング設定 等ができます。 また、一定条件の DX Spot を受信した時にアラ ーム音を鳴らすことができます。

写真_18a アラーム音の設定

DX Spot Audio Alert zetup		X			
R Alert for callsign(s). Separate callsigns	with a comma.				
17314					
CALogger32/Ring way				Browne	Text
V NewCountry			F IDTA not worked		
CAProgram Files/Logger12/usiane.wav	Browne	Text	C*Logger32VRing way	Browce	Text
IT New Band County			F IDTA not confirmed		
	Excesse	Test	C:\Logger22\Fing.wev	Browce	Test
T New Mode County			T IDTA not credited		
Chillegran Filen Legger Schlam wav	diment.	Teit	C'Logget2/Vling wav	Brosse 22	feat 1
J New Band Node County	- 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10				
	Traves.	Test			
Country not confirmed					
C Program File/1Logger32 alarm way	University	Tell			
Country not credited					
	Bittere	Test			
F Band Country not confirmed					
And the second second second second	Bassie	Tell			
Made Country not confirmed	100000				
	Batterio	Tell			
F Band Mode Country not conferred				1	
	Estante	Tell		Apply	Cancel

写真_13a DX Spot



DX Spot Window に表示された DX Spot をクリ ックすれば Transceiver はその周波数、モード に切り替わります。

(10) BandMap を使う

DX Spot を周波数スケール上に表示します。最 初に開く BandMap は Logbook Entry Window に表示されたバンドです。

更に他のバンドを最大 2 ツまで開くことができま す。Monitor BandMap 1、2

BandMap に表示された DX Spotをクリックすれ ば、Transceiver はその周波数、モードに切り替 わります。

写真_14 BandMap



(11) Callsign lookup を使う

Logbook Entry Window に callsign を入力した 時、その callsign の情報を別 window に表示す ることができます。更に別 window に表示された 情報を Logbook Entry Window の然るべき入 力欄に転送することができます。 利用できる情報源は、CD-ROM(RAC、QRZ、

Hamcall)、GoList、QRZ.com 等があります。

写真_15 Callsign Lookup

🖬 Оре	erator : J	A1NLX			×
Freq	14040.0	Mode	CW	Band 2	OM
Call	JA1NLX		-	IA AS 25	×
Sent			Stat	e	?
Rovd		CNTY	_		?
Name			QAL_VI	A	
Cmnt					
EQ_RX		IOTA			?
File	Z Subser Toolbox	iber Lookup Transfer		_	
Name Address	: AKIRA Y0 : 1238-23 k MACHIDA)SHIDA (OGASAGA, \ CITY, TOKYC) 194-0014		
State	¢	Zip :	County :		
Country Grid e-Mail OK by Call	: Japan : PM95rm : ayoshida(: :	@my.email.ne Q	IOTA : URL : http Id call : Isl via :	://www.ne.jp	o/asahi/

QRZ.comを利用した Lookup には外部プログラムを インストールする必要があります。

QRZ.com の 有 料 メ ン バ は 、 QRZSubscriberXMLLookup.exe が使えます。

ー般メンバは、QRZHTTPLookup.exe が必要で す。

どちらも下記からダウンロードすることができます。

http://www.n2amg.com/software/qrz-lookups-for-logger32/

(12) SO2V の設定

Transceiver が Main/Sub 受信機をもち、 Transceiver の Audio 出力が L/R ステレオであ れば SO2V (Single operator 2 VFO)の機能を 使うことができます。特に効果があるのがデジタ ルモードの運用です。珍局は Main の SoundCard Data Window で、split で呼びまく る状況を Sub の SoundCard Data Window で 確認することができます。

現在 SO2V がサポートされている機種は、 FT-2000/D、FT-9000、FT-1000mp/mk5、K3で す。TS-950SD/SDX、FT-1000D はテスト中で す。

写真_16a SO2V

de Se	Hines Un	w Mode	Display	Aur 1 A	-2 900	B 802W	Notch C	lear			
•	- E	di recev Settine	ver uning ri 1 Mode G	etit avdi celty R	o channel aich Cla					2	2
		141 97700-2470	0955	4096.0	140	85	14097.0	1403	7.50000		
	RI	141 9~~~~~~ IY4L 1	04515 9211 Hz 14	14096 D 	140 140 12 0 dS	AFC ON	14057/0	1403	n.s		
	R	14 9	0655 100	4295.0 1996/17	140 M ^a waaa He Ode	×5	14087 Ó	1405	n.5		
		14 2	0555 707 907 Hz 14	4095 0 1995 921 K	140 12 0 dB	AS	1405710	140	75		
DE		14	0555 201 Hz 14 841	14095 0 095 921 K	140 MIN	× 5	14097 û	140			BV
DE	RT CALLOS	TNC TNC	0665 S21 Hz 14 RST QTH/Nana	4295.0 095.921 K 73 Rig	tz 0 di	AFC ON	14057 0 0 0 0 0 0 0	140 LIR	NR only 100w	TX	RX

(13) SO2R の設定

2 ツの Transceiver を Radio 1、2 に設定するこ とができます。バンド、或いはモードにより Radio 1、2 を使い分けて、自動切替することが できます。

(14) Radio Debug Window

Logger32とTransceiverの通信状況をモニタす ることができます。通信に問題があった場合の 原因追求に便利です。

尚、Rotor 制御のための Debug Window も用意 されています。

写真_36a Radio Debug Window

Nadio debug months						20
CON 12 FR Sub Rx FR	EQ : 14046.250 EQ :	MODE : CW Sub Ra MODE :	@ CTS	@ 05R	OTR OTR	@ ATS
CLOSED SO2R FR	EQ :	SO2R MODE :	📿 CTS	O DSR	O DTR	G ATS
Pol. F. RX: F00014046250 Pol. F. RX: F00014046250 Pol. F. RX: F00014046250 Pol. F. RX: F00014046250	00000001003000 00000001003000 00000001003000	0090; 0090; 0090; 0090;				*
Pol : F:						-
Exil Fi	10000					

(15) CW Machine を使う

Transceiver に実装されている Keyer だけでは できないことがあります。コンテストで使うシリア ルナンバ、マクロで設定する複雑なテキスト送 出等には CW Machine を使うと大変便利です。 CW Machine は 3 ツのモードから選択します。

 Software CWキーイング信号はLogger32が生成し ます。出力はシリアルポート、或いはパラ レルポート経由で何等かの外部インターフ ェースが必要になります。 PC の負荷のかかり具合によってはキーイ ング信号がくずれるという欠点がありま す。

- WinKey
- ③ WinKey2

K1ELのWinKeyチップ、或いはWinKey2 チップが搭載された外部機器を使用しま す。Logger32はASCIIデータを外部機器 に送り、外部機器がCWキーイング信号 を生成します。PCの負荷のかかり具合が キーイング信号の生成に影響を与えない メリットがあります。

これらの外部機器の 1 ツに microHAM 社 の CW Keyer があります。PC とは USB ケーブル 1 本を接続するのみで、CAT 用 のシリアル出力、CW キーイング出力、 PTT 出力が得られます。PTT 出力は SO2R 設定の場合に Radio 2 用の CW キ ーイング出力にもなります。

写真_17a CW Machine

🕰 CW Machine - WinKey								
Confi	View	w Key	vine IX	Abort Tur	ne Ver			
Keying	speed	- 23 WF	РМ 🧯		-	###		
Call	5nn	5nn	Cal+	log	1 1			1/2
						Sub	Split	OFF
				clear		100w	50w	5w

(16) Sound Card Data Window でデジタルモード MMTTY エンジン、MMVARI エンジンがサポー トしているデジタルモードが運用できます。 詳細についてはヘルプファイルをご覧ください。

写真_22a SoundCard Data Window



(17) 複数の Operator を使い分ける

1 ツの Logbook を複数の Operator で使い分け ることができます。Award もこの Operator 別に 集計、表示することができます。

筆者は、JA1NLX と JA1NLX/QRP を使い分け ています。ただ QSO の際は JA1NLX で統一し ています。この場合 LoTW によって Logbook を 更新する際に注意が必要です。LoTW から戻っ てくる QSL データには JA1NLX/QRP が存在し ないからです。

写真_19 複数の Operator

Current Operator	×
Select/Enter the Ca	Ilsign you want to use.
JAINEX	Apply
JAINLX	
JAINLX/1	Y
	Ý
LVE MATNES	

(18) 複数の Logbook を使い分ける
 複数の Logbook を使い分けることができます。
 但し Logbook 名はユニークでなければいけません。

写真_20 複数の Logbook

Logbook sel	ection (Auto backup disabled)	×
Cautio	: Logbook name must be a unique file	name on this PC.
File name :	gbook32	
Path : C	\Program Files\Logger32\	
Apply	Browse	

(19) 管理したい Award の設定

最初から組み込まれている Award は次の通り です。

CQDXFIELD、DXCC、DXCC Challenge、 IOTA、VUCC、WAC、WAZ、Simple Awards、 Primary administration awards、Secondary administration awards

<u>Simple award</u> はそれ自体のデータベースはあ りません。Logbook のある項目をカウントするも ので、次の Award が組み込まれています。 10x10、WPX、Grid Square

<u>Simple Award</u>は上記の他に、Logbook の USER_1、USER_2、USER_3 を使い、任意に 追加することができます。 Primary administration awards は各国の第1 行政区分、アメリカでは州、日本では県を対象 にした Award です。Logbook の項目は STATE です。専用のデータベースが必要で、以下の Award が組み込まれています。専用のデータベ ースが用意できれば追加することができます。 WAS、WAJA

Secondary administration awards は各国の第 2 行政区分、アメリカでは郡(County)、日本では 市、郡を対象にした Award です。Logbook の項 目は CNTY です。専用のデータベースが必要で、 以下の Award が組み込まれています。専用の データベースが用意できれば追加することがで きます。

USACA, JCC, JCG, DARC_DOK

Award を追加したい場合については<u>ヘルプファ</u> イルをご覧ください。

どの Award を管理するのか?

<u>ここでいう管理というのは、クレジットの有無の</u> 管理です。単にWorked/Confirmedだけが分か っていればいいという場合は読み飛ばしてくださ い。

Logger32 がサポートしている Award だけでも かなりの数になります。本当に管理したい Award は限られてくると思われるので、先ずそ れを選択します。 Award to track

写真_28a Award to track

PIPEdras to a dok, by USL	Awards to track by LoT	W Awards to track by eQS	L Awards to track by sp	ecial
2 DKCC_MP4ED 2 2 DKCC_MP10NE 2 DKCC_PHDNE 2 DKCC_PHDNE 2 DKCC_PHTY 2 DKCA 2 DKA 2 DK	W DYDC, MKED W DYDC, MKED WOXC, DW DYDC, PHONE WOXC, RTTY WIDT WIDT WIDT RDA WIDC WAB WAC WAP	AIA CORK/FELD COWAZ_MIKED COWAZ_MIKED COWAZ_FININE COWAX_FININE COWAX_FININE COWAX_FININE COWAX_FININE	AM ODOVRELD ODOVRZ_MXEED ODVAZ_MXEED ODVAZ_WXEED ODVAZ_WXEED ODVAZ_WXE ODVAZ_TROM ODVAZ_TROM ODVAZ_TROM ODVAZ_TROM ODVAZ_TROM ODVAZ_MXE ODVAZ_MXE ODVAZ_MXE ODVAZ_MXEED OVAZ_PHONE	1

更に特定の QSO に対してクレジット状況の印、 Granted、Submitted をつけます。ここに表示される Award は Award to track で選択したものとなります。 Granted はクレジットをもらった、Submitted はクレジ ット申請中、或いは次に申請するというような意味で す。

写真_29a

USACA USACA USACA USACA WALA USACA USACA WALA USACA USACA WALA USACA WALA USACA WALA USACA WALA USACA WALA	DACC_MDAED DACC_CW DACC_CW DACC_RTTY JIDTA JJCC	USL creat granted DXCC_MDED DXCC_CV DXCC_RTTY UIDTA JJCC JJCS	LoTW credit submitted DKCC_MINED DKCC_CW DKCC_RTTY DIOTA JCC UCS	DIVCEMEED DIVCE_MEED DIVCE_CW DIVCE_RTTY DIVCE_RTTY DIVCE JCC JCC
] USACA] WALA eQSL credit submitted	USACA WAIA eQSL credit granted	Special credit submitted	USACA

<u>Award の全体状況を見るには</u>

Worked、Confirmed、Granted、Submitted の全体 は Award Table で見ることができます。

写真_30a

1241	where were only we operatory, c		decision.							ya
KKA.	1590.0511	1100	3280	354	37M)	20%	1304	100	1,00M	
45-006	iki / Toushina telanda						0		122	-
12-037	Koohkijina Islands								0	
45-000	East Siberies See Coest group					- C .	0			
5-030	Konerciorskive (Commerder) Islands					WC.	. W.	CWC.		-
VS-040	Octo Islands				0					
\$-041	Chi biende		- 0				- û .			
\$-042	Severarya Jentya (Noth Lands									
\$-043.	South Dialolands					0				
5.044	Sea of Olihutek Calent Centre Group									
5-045	Kyonopene buildo Prov (Ulkung Island) aroup					6				
5-045	Persena / John State East crisup				G		C			
5-047	Dato blands				G		. C.			
5-048	De Lanos blands									
5-043	Tokers blowlo							13		
5.000	Services Altrova blands									
3.051	Sax ally islands		- C	C.	0	0	. C.	C.		19
	IOFAt system	157	114	195	225	305	204	122	23	1
	107.4s conferred	144	100	185	195	355	101	140	23	
	107An submitted	1.00	100	2	3	12	2	2	1	
	EX.As provided	38	13	66	- 60	1000	100	42	- 6	
	field of \$70 074 cardinal 541 conferent on Ma	of Mark		IDTA		CR LOTAL	1.77	Sec. 1	100.00	
and street of the local division of the loca	the other states and the contract of the	as disc	1000	ine in	0695	No. of Lot, No.		and the		
and Mc	ode 💌 Mil Operators 💌 OSLs only		1 OSL	credit:	£	2				

(20) DX 情報を参照する

現在サポートされている情報源は、425DX と RSGB IOTA Activity です。クレジット受領済、ク レジット未申請、Worked、Confirmed が色表示 されます。

写真_21a 425DX

9 425DX	10	i April	2011 (Highlights for All oper	atur	8)		X
File Setup		10000					
Dates	2	Ptx	Cal	. ?	ATOL	Ref	
30/04-04/05	C	1040	JD18MT	C	AS-031	1039	-
30/04-07/05	C.	JD40	JD18LY	0	AS-031	1039	
April	0	70	70/7HB		1	1034	
April	c	VE	XKIT		NA-193	1031	
01/05-06/05	c	OZ	0Z/0040	G.	EU-172	1041	
04/05-13/05	C	10/0	JD18MH	G	AS-031	1039	
07/05-15/05	C.	9A	SASAMS, SAAKARGJ, SAJZ4BBF, SAJI			1039	
May	C.	YA-	TEPSE			1040	à.,
01/06-31/07	0	DL	DLOYLVM		0.00	1037	200
14/06-28/06	¢.	¥2	V250D, V250R, V25TP	G.	NA-100	1031	1
15/06-22/08	¢	GM	MSONT			1021	
18/06-22/06	C	FOIP	FO/FECTL	0	OC-027	1039	1
22/06-26/06	C	FOIP	FO/F6CTL	0	00-027	1039	-

- (21) Rotor を制御する詳細は<u>ヘルプファイル</u>をご覧ください。
- (22) アンテナ切替器を制御する 詳細は<u>ヘルプファイル</u>をご覧ください。
- (23) マクロでダイレクトコマンドを使う

マクロというのは「手順の予約語」のようなもの です。CW Machine Window、SoundCard Data Window、Data Terminal Windowで使う ことができます。簡単なマクロを1ツあげます。

\$call\$ \$greeting\$ 5NN TU

\$call\$には Logbook Entry Window で入力され ている callsign が挿入されます。\$greeting\$に はその相手のローカル時間に合わせた GM、 GE、或いは HI 等が挿入されます。

特殊なマクロとして \$command\$、或いは \$hexcommand\$ があります。これは Transceiver の CAT コマンドをその後ろに記述 するためのマクロです。次はその1例で、Radio 1には TS-590、Radio 2には K3 が定義されて いて、その出力を 50w に設定するものです。

\$command PC050;/K22;PC0501;\$

KenwoodとElecraftはほぼ同じコード体系になっていますが、僅かに異なるところがあり、この 場合はそれぞれのコマンドを"/"で区切って記述 します。

SoundCard Data Window では、送信開始の \$transmit\$、送信終了の\$receive\$が多用され ます。\$transmit\$は SoundCard Data Window の送信バッファの内容を送り出すことと、 Transceiverを送信に切替えるための CAT コマ ンドを送出します。Transceiver によって、

- 送信に切替える CAT コマンドを持ってい ないもの
- 単にマイクコネクタの PTT の替わりになっているもの
- マイクコネクタと後部パネルの専用コネ クタを切替えるためのパラメータを指定 するもの

があります。例えば一般的な Kenwood 機種 では②ですが、TS-590 は③です。しかし Logger32 にはそのサポートリストに TS-590 がありません。この場合、TS-590 と同じコー ド体系を持っている TS-480を選択しないとい けません。

- (24) 便利な外部プログラム
 - LogPrint Logger32からexportしたLogbook、QSL ファイルを import します。詳細は<u>ヘルプフ</u> <u>アイル</u>をご覧ください。
 - Logbook を印刷することができます。
 - QSL カード、ラベルを印刷することができます。

写真_27a QSL カード印刷例



2 LoTW eQSL Utility

Logger32 は、LoTW、eQSL アップロード 用ファイルの export、及びダウンロードし た Log データによる Logbook 更新機能を 備えています。 この Utility は、これらの機能を呼び出すこ

というのではないでは、これらのの機能をようの出すことに加え、LoTW、eQSL サーバへのアップロード、ダウンロード機能を持っていま

す。

更に、Web 上に用意したサーバへの Logbook アップロード機能、<u>ClubLog</u>サー バへの Logbook アップロード機能を備え ています。

(25) 好みのフォント、色表示にする

- Logbook Entry Window 変更できるのは次のとおりです。
- データ表示のフォント、色、背景色、フォーカ スがある時の背景色
- タイトル表示のフォント、色
- ・ 周波数/モード/バンド表示の色です。



写真_31a Logbook Entry Window のフォント、色

Logbook Page Window 変更できるのは次の通とおりです。

- マウスでクリックした QSO データのテキスト
 色、背景色
- ・ Worked QSO の背景色
- Confirmed QSO の背景色、背景色を行全体 にするか Callsign 欄だけにするかの選択
- ・ QSL Sent QSO の背景色(QSL 受け)
- QSL to be printed QSO の背景色(QSL 発行 予約

写真_32 Logbook page window の背景色

Highlight	Date format	Time form
Grid hig	hlight (on mous	se click) 🔸
Worked	highlight	•
Confirm	ed highlight	•
Credit h	ighlight	•
QSL ser	it highlight	•
QSL to b	be printed high	light 🕨 🕨

③ DX Spot Window

写真_33a



自分のニーズに応じて DX Spot の背景色を選択す ることができます。

写真_34a

	orked/confirmed/credited color sele. 🗙
•	All time new Country
•	Insert IDTA alerts/colors at this priority level
•	Country not worked this Band
•	Country not worked this Mode
•	Country not worked this Band/Mode
Г	Country not confirmed
Г	Country not credited for DXCC_MIXED
Г	Country not confirmed this Band
Г	Country not confirmed this Mode
Г	Country not confirmed this Band/Mode
Г	Unknown Band/Mode or Prefix
	DXCC_MD/ED DXCC award to track
2	IOTA not worked
•	IDTA not confirmed
•	IOTA not credited
	LoTW user
	Apply Cancel

④ Award Table
 Worked 、 Confirmed 、 Granted 、
 Submitted の背景色を設定することができ

ます。Logbook Page Window で設定した Worked、Confirmed の背景色が Award Table にも適用されます。

Granted、Submitted の背景色は Credit highlight で設定します。

写真_35a

KOTA .	interval all	22 N.N.	104	124	154	1754	204	304	4064	304	10
4S-038 Enot Silver	ian Sea Coast group		22.00	1000		1000	0.0	0	10000	2468	1
AS-039 Kentander	skiye (Commander) Isl	ands					W	79	W		
4S-040 Goto Islan	db					0					
AS-041 Oli blands	E			C				0			-
4S-042 Severnay	a Zentya (North Land)										
AS-043 Southleu	is involu						.0				
4S-044 Sea of Ok	hotsk Coest Centre an	OLAR									
AS-D45 Kyongam	g-builde Prov (Ullung)s	dand) proup					0				
4S-046 Pehenal.	Iohor State East groun					0		C.			
AS-047 Dato Islan	dz					0		C			
4S-048 De Lonia	Islands										
AS-049 Tokens bit	arada:								550		
AS-050 Sergeva H	Grova Islands										
AS-051 Spratly Id	ands			0	C I	C	· 0	- C -	- C -		2
	() () () () () () () () () () () () () (IOTA: worked	152	114	195	225	385	204	122	- 29	Т
	10	LAs confirmed	144	100	185	195	356	161	110	29	
	10	TAx submitted		1000	2	3	13	2	2	1	
		IOTAs granted	38	13	66	90	188	8t	42	3	
Total of 571	IOTAr workerd 542 co	onlineed on Min	ed Mod	a 519	UDTA.	erarfite.	martin	1 23 -	dereit tert	1.0	
the difference of the	Langenetari	d foreit a set		Inn		-	÷10				

<u>Logbook、設定ファイルのバックアップ</u>

定期的に次の操作をしてください。

- ① Logbook を ADIF ファイルでイクスポート
- バックアップユーティリティの zip Database and Logbook、zip user files を使い、Logbook、ユ ーザー設定ファイルをバックアップする。
 この処理は、あらかじめ決めたスケジュールで 自動的に処理を走らせることができます。
 いずれかのアイコンを右クリック、Schedule をク リックします。

写真_5 バックアップのスケジュール

👰 Ba	ckup databases and logbook
File	Schedule
Back C:\P	Full backup when Logger32 is shutdown Logbook only backup when Logger32 is shutdown
into I	Backup current Logbook before import
C:VP	Backup current Logbook after import
	Backup current Logbook on Logbook change
	 Do not backup current Logbook after QSOs
	Backup current Logbook every QSO
	Backup current Logbook every 5 QSOs
+	Backup current Logbook every 10 QSOs
	Backup current Logbook every 25 QSOs
	Backup current Logbook every 50 QSOs
	Backup current Logbook every 100 QSOs

これは万一の場合への備えです。

<u>Logger32 を更新する</u>

Logger32 は比較的頻繁に更新されます。常に最 新バージョンに更新されることをお勧めします。問題 が発生した場合にサポートが困難になります。特に 説明のないバグ修正もあります。

更新の一般的な手順は以下の通りです。

- バックアップツールを使い Logbook、設定フ ァイルを保存します。(zip database and Logbook アイコン、zip user files アイコン)
- Logger32を終了します。
- ③ 下記から Logger32 update 版をダウンロードします。解凍すると2ツの zip ファイルが得られます。
- ④ Upgrade.zip を解凍し得られたファイルを Logger32 のフォルダに上書きコピーしま す。
- もし最新のデータベース (Country Database 等)に更新する場合は、 Database.zip を解凍し得られるファイルを Logger32 のフィルダに上書きコピーしま す。
- ⑥ 日本語表示に必要な ja.dll が更新されてい る場合は、下記から ja.dll をダウンロード、 1041.dll とファイル名を変更して Logger32 のディレクトリに上書きコピーします。(日本 語表示が不要であればこのステップは省略 します)

http://www.asahi-net.or.jp/~yy7a-ysd/Link s.htm

- ⑦ Logger32 を起動します。この時に表示されるバージョンナンバが正しいことを確認します。
- ⑧ 全ての Logbook に対して Recalc を走らせ ます。

通常は以上の手順で OK ですが、Logbook のデ ータベース構造が変わった場合には Logbook の 削除、Logbookの再インポートが必要になります。 また機能追加、修正の内容によっては関係する機 能の再設定が必要になります。

詳細は更新の都度下記でお知らせしています。

http://www.asahi-net.or.jp/~yy7a-ysd/Logger32. html

<u>終わりに</u>

紙面ではなかなかうまく説明ができず、いつも歯 がゆい思いがします。実際にPCを前にやればもっと もっと分かりやすいのですが。

いずれこのような機会が持てればいいですね。

何と言っても世界的に見れば一番多くの仲間が使 っているロギングプログラムです。是非一度試してみ てください。